

略歴

バーバラ・W・シャンク博士（MSW、PhD）

バーバラ・W・シャンク博士は、マカレスター大学で社会学の学士号を取得し、ミネソタ大学でMSWとPhDを取得しました。彼女は40年以上にわたりソーシャルワーク行政に携わり、BSWのフィールドコーディネーターとしてキャリアをスタートさせ、セント・トーマス大学とセント・キャサリン大学のソーシャルワーク学部の初代学部長兼教授を務めました。

彼女の研究分野は、職場と学術界におけるセクシャルハラスメント、ソーシャルワークのカリキュラムとプログラム開発、そして「ミッションに基づいた教育」です。

バーバラは、BPDのプログラムおよび会議委員長、NADDの会長、副会長兼プログラム委員長、会計、国際タスクフォースの共同委員長、ICSDのニュースレター編集者兼会長、カトリック・チャリティーズUSAの理事会参加オブザーバーを務めました。ミネソタ州NASW支部の会長兼幹事、NASW全国理事会メンバー、CSWE COA（教育政策、グローバル教育、情報管理・研究）の認定サイトビジター、会計担当役員および理事会議長（いずれも2期）、IASSW幹事（2期）を歴任。シンガポールのグローバル研究所の国際諮問委員会メンバーであり、2017年にフェローに選出。CSWEキャサリン・ケンドール研究所諮問委員会メンバーを2期務めた。現在、IASSWの常駐会計担当役員を務めている。

シャンク博士は、ジュリア・A・ワトキンス博士と共に、2013年に南東ヨーロッパの移行経済諸国出身のソーシャルワーク分野における若手女性研究者のリーダーシップ育成を目的とした南東ヨーロッパ女性リーダーシップ・イニシアチブ（SEEW）を設立した。2022年から2026年にかけて開催されるSEEWリーダーシップ・イニシアチブ・サマースクールの名誉共同議長兼講師を務める。2008年以来、バーバラはクロアチアとイタリアからそれぞれ1名ずつ、2名の国際博士課程学生と、ブラジルからの上級研究員を受け入れる榮譽に恵まれました。

2015年、シャンク博士は高齢の友人の遺産管理人兼管財人に任命され、遺産から600万ドルを超える寄付金の分配を担いました。

シャンク博士は、以下の賞を受賞しています。全米ソーシャルワーカー・オブ・ザ・イヤー（ミネソタ州支部）（1993年）、マカレスター大学優秀市民賞（2000年）、BPD学長賞（2008年）、セント・トーマス大学125周年で最も興味深く影響力のある125人の1人に選出（2009年）、セント・キャサリン大学大学院卒業式で「プロフェッショナルとしてのキャリアをスタートさせるための5つのルール」についてスピーチ（2014年）、全米ソーシャルワーカー・オブ・ザ・イヤー（全米ソーシャルワーカー・オブ・ザ・イヤー）（2015年）。

ビル・カルプ財団（BPD）生涯功労賞（2016年）、アビリーン・クリスチャン大学（Abilene Christian University）にて第4回ウィリアム・“ビル”・カルプ寄付講座講師（2017年）、セント・トーマス大学より功労賞（2017年）、ミネソタ州ナサニエル・サウス・サウス・ウェールズ（NASW）支部より生涯功労賞（2019年）、米国史における著名なソーシャルワーカー50名（2019年）、ソーシャルワーク教育評議会よりソーシャルワーク教育における功労教員賞（2024年）を受賞。

ミネアポリス財団の女性キリスト教協会財団（WCA）シグネチャー基金の会員を務め、現在はウガンダのSee Them Grow財団とセントポールのハイランドパーク・モンテッソーリスクールの理事を務めています。

バーバラは、学部、大学院、博士課程で教鞭を執ってきました。彼女はセントキャサリン大学とセントトーマス大学で修士課程および博士課程を設計、開発、実施しました。彼女のリーダーシップの下、セントキャサリン大学／セントトーマス大学の社会福祉学部は、学生数が50人から600人以上に、常勤教員が4人から34人、プログラムが1つから5つにまで成長しました。2014年には、社会福祉学部は「実践としての教育」に焦点を当てたDSWオンラインプログラムを開始しました。シャンク博士は2018年に退職し、現在は学部長兼名誉教授の称号を有しています。彼女は、セントトーマス大学の先住民族博士課程の学生のためのBWS奨学金基金を設立しました。

バーバラは医学博士リチャード・シャンクと結婚しており、キャサリンとダニエルという2人の成人した子供と2人の孫がいます。